

学校施設を含む公共施設の方針に係る説明会 開催結果【児玉地域】

8月 25 日(日) 開催
児玉地域

学校施設を含む公共施設の方針に係る 説明会が開催されました

本庄市では、こどもたちにとって望ましい教育環境の実現を目指すため、学校規模の適正化を検討するとともに、学校規模の適正化により、統合となる学校の跡地の活用や既存の公共施設の機能を新たな施設に集めて複合化するなど、公共施設の見直しを進めています。

この度、検討を進めてまいりました学校施設を含む「各公共施設の見直し方針(案)」を取りまとめましたので、7月 20 日から8月 25 日 にかけて、市内 12 の小学校区単位での地区別説明会及び本庄地域・児玉地域の全体説明会を順次開催します。



開催風景(児玉文化会館セルディ)

第13回として、8月25日(日)午前9時半から児玉文化会館セルディにおいて、「児玉地域」の説明会が開催されました。

当日の質疑応答では、9件のご意見・ご質問をいただきとともに、説明会にご出席いただいた皆様には会場でアンケート用紙を配布し、13 人の方からご意見等をいただきました。

【開催概要】

開催日時 令和6年8月 25 日(日)

午前 9:30~午前 11:10

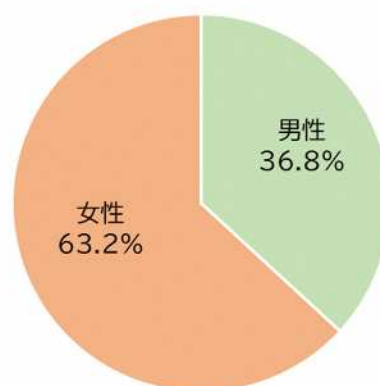
開催場所 児玉文化会館セルディ 2階 大会議室

参加者数 21 人

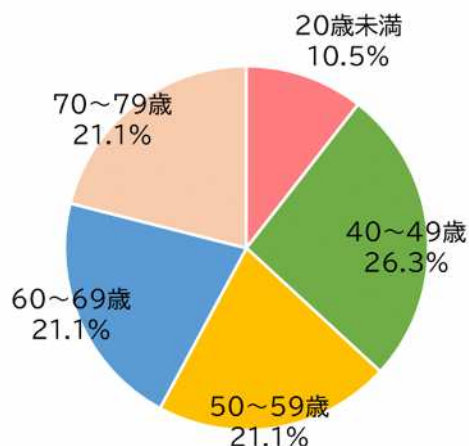
アンケート回答者数 19 人

参加された方の属性(アンケートより)

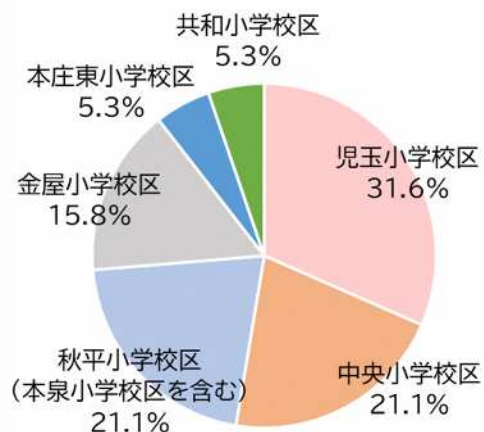
性別



年代別



居住地区



説明会でいただいたご意見・ご質問(アンケートへの記載含む)

学校施設について

- 資料1の31頁に令和7年度から小中一貫教育を段階的に実施とあるが、これはどのようなことなのか。小中一貫教育を実施するのか。
- 説明してもらった事項について、決定として進んでいくのか。また、他市町村の事例を参考にしたり、統合に当たっての様々な問題やデータ、モデルケース等について収集しているのか。
- 統廃合すると学校の先生の目が届きにくくなるのではないか。大きくなればなるほど、生徒一人ひとりに目が届きにくくなるのではないかという心配がある。
- 「小中一貫教育」に期待している。
- 小学校が統合することが決まっているのであれば、どんどん進めてほしい。個人的にはもっと早くてもかまわない。こどもにはたくさんの人の中に入り、いろいろな人から刺激を受けて育ってほしい。
- 学校は地域の複合施設となっている。統合ではなく、(分校)－(基幹学校)－(分校)という形で、しばらくは継続して行ってほしい。
- 現在まで、学校はその地域の人々に支えられてきた。地域にはその学校を卒業し、その学校を愛する人たちがたくさんいる。その方たちの支えあつての学校が無くなるのは、こどもにとって地域と心が離れてしまうことがとても心配である。また、その地域の特色ある体験活動を地域の方が支えてくれている行事がある。それも統合により結果的に無くなってしまうということになると、こどもにとっての有意義な取組、体験が消えないだろうか心配である。今ある地域の価値の消失を無くしたい。
- 公共施設の見直し方針の一覧に中学校が含まれていないが、中学校の整備は後回しになってしまうのか。小中一貫や義務教育学校を検討していくのであれば、中学校の整備を含めた方針一覧を作成してほしい(一覧に無いということは、小中一貫や義務教育学校はあまり考えていないということなのか)。
- 少子高齢化で統廃合は仕方ないかと思う。財政面も多くかかるかと思うが、本庄市が明るく、こどもを育てやすい市になるようにお願いしたい。
- 幼稚園のお友達と同じ小学校に行きたい。
- スクールバスを導入してほしい。クラスをもう少し増やしてほしい。

公共施設について

- 公共施設の統廃合について、特に防災について配慮がほしい。以前の災害時、避難所に避難した人から、避難所が一杯で3か所ほど回ったと聞いた。施設の統廃合により、近くの避難所が無くなってしまわないよう、そのあたりについても検討してほしい。
- 夏休みの学童利用について心配している人の声を聞いた。学校の統廃合で学区が広がることにより、学童の利用について不安を持っている母親が多いと思う。学童についてはどこに問い合わせればよいか。
- 学童の充実、高学年児童も預かってほしい。

公共施設について

- 共和小学校のプールを市民にもと言っていたが、以前あった市民プールのような施設があるとうれしい。
- セルディの図書館、体育館はここに必要。文化的な施設を、お金が無いからで壊さないでほしい。
- 本日は有意義な説明会を受けられ大変ありがたかった。統廃合がどのような考えで話し合われてきたか、とてもよく分かり、この分析と積み上げに敬意を抱いている。予算のこと、コストのことも大変よく分かった。かなり後のことなのでイメージがつきにくかったが、よく分かった。メリットなどもこども達にあり、提案のまま引き継がれていくことが望ましいものもある。
- 老朽化であり、壊してしまうことは耐用年数ゆえ仕方がないが、同じ場所に寄り合いの場がないと、話し合いの場が無くなり、心一つになれず、コミュニティが消えてしまうだろうと危惧している。その克服のために、市の施設を作った場合、施設が建っている地区の地域住民が「使えない」ことなく、優先されるような配慮を求めます！
- 公共施設の見直しについての内容を知りたくて参加した。
- 公民館を利用している。統廃合により、今後の利用方法について不安を感じている。高齢化、移動手段等、自分の生活についても見直しが必要となってくると思うので、早めの方針決定を希望する。
- 公共施設であるため、誰もが使いやすい、通いやすいものであってほしい。

その他

- これだけ学校を統合してしまうと、そこで働く人が減っていく。働く場が減ることについては、話し合いなどを行っているのか。
- 若い方を積極的に取り込んでほしい。移住に関しては、学校とセットで若い方は考えている。この統合計画は関所になるのではないかと心配。
- 普段、議会便りなどで目にする人口減の対策としては、移住促進や子育て支援などがあり、その多くはお金に関する支援となっている。それらについて、子育て支援に必要なのはお金なのか、と思っている。それよりもどこにでも行ける本庄市の特性を踏まえて、新幹線通勤への補助等を何故出さないのか疑問である。生活しやすさをもっとアピールしてほしい。児玉南のあたりでは新しい家が建っている。新幹線利用による都内への通勤の利便性などをもっとアピールし、これまでもいろいろとやってきていると思うが、更に進めてほしい。
- こどもの数が減っていると感じる。保育料が無料化されている自治体に住む、家を建てるという若い人の意見がある。保育料については、人口増加に効果的であると思う。また、小中一貫校でこんなこどもが育つというPRをしてほしい。それをするにより、もっと若い人が本庄に来てくれるようになるのではないか。
- この内容について住民にどのように知らせていくのか。多くの人に知らせていく方法をよく加味して教えてほしい。知らなかったと言われることが一番怖いことである。

その他

- 仕事と子育ての両立は難しい。小学校へ上がれば学童も検討しているが、負担が多い。働き先もなく、都内に行っている。本庄市での子育て、不安が多い。安心して子どもたちを育てられる本庄市を期待している。
- 少子化で見直しが必要になっていることは分かったが、不安も多い。少子化を改善できる取組も積極的にやってほしい。こどもの遊び場がなく、他県へ行くことも多い。本庄市の魅力をアピールしないと、人口減少につながっていく。
- 今から10年後、20年後の構想の説明だが、失礼ながら、今日の会場に居た役所側の人、一般の人の半分近くは居なくなっていると思う。引継ぎ等をしっかり行ってほしい。大切な子どもたちのために、よろしくお願いします。
- 現状をよく理解することができた。このまちで子育てしたい、住み続けたいと思える取組を地域からも発信、応援していきたいと考えている。

※各説明会でいただいた主なご意見・ご質問に対する回答につきましては、後日、自治会回覧及び市ホームページに掲載いたします。

【お問合せ先】 本庄市 企画財政部 企画課 0495-25-1157
本庄市 教育委員会 学校教育課 0495-71-8690